

アンケートの ご協力をお願い



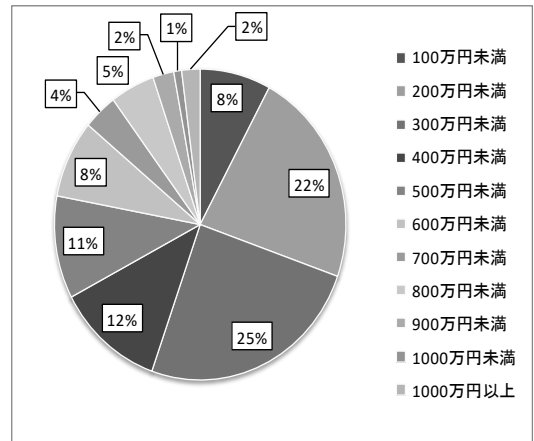
【期間】2019年6月10日～9月13日

●調査の概要

本調査は、全国大学院生協議会(全院協)が、全国各大学院の加盟院生協議会・自治会の協力の下に実施する全国規模のアンケート調査です。大学院生の経済実態を客観的に把握し、もって大学院生の研究及び生活条件の向上に資する目的で行われるものです。2004年から毎年実施しており、今年で16回目になります。昨年度2018年度は全国40都道府県126の国公立大学に所属する大学院生からご協力をいただきました。

●2018年度の調査の結果

アルバイトの状況が、大学院生の経済的実態を端的に語ります。47.9%が学外のアルバイトを含むなんらかの仕事に従事すると回答し、その目的は71.7%が「生活費・学費をまかなうため」としました。また多くの大学院生が貸与型の奨学金を利用しています。本調査では、50.2%が貸与型奨学金の利用経験があると解答し、さらにその3分の2以上が、300万円以上の借入をしていると回答しました。さらに右の図にあるように、2.9%が1000万円以上の借入をしていると回答しています。“修士課程は意外に忙しくアルバイトをする時間がほとんどとれずやっとならざるを得なくなったと思ったら研究がスタートという状況で、結局金銭的にはどんどん苦しくなる一方。博士にすすみたいと思っても今後どれだけお金がかかるのかと思うと恐ろしくて考えられない。奨学金はありがたいが、結局借金。気が重い。”などの声が寄せられています。



↑奨学金を借入している院生の借入額

Web版アンケートの回答方法

Web版アンケートは、右のQRコードからアクセスできます。

所要時間は約10分、期間は2019年6月10日～9月13日です。

QRコードに不具合がありましたら、下記全院協ブログから移動してください。

URL : <http://zeninkyo.blog.shinobi.jp>



●メディアからも注目

「奨学金借り入れ院生『500万以上』24%以上
研究削りバイトも 院生協議会調査」
(朝日新聞 2014年11月27日)

「大学院生 バイトで研究に支障」
(NHK 2012年11月30日)

●報告書を作成、国会へ

全院協では、10月に本アンケートの報告書を作成し、月末には国会議員・政党・省庁へ要請に行っています。過去の報告書はHPから閲覧することができます。下記の全院協ブログからご覧ください。

2019年 全国大学院生協議会

〒186-0004 東京都国立市中2-1一橋大学内院生自治会室気付

電話・FAX : 042-577-5679

E-mail: zeninkyo.jimu@gmail.com

ブログURL: <http://zeninkyo.blog.shinobi.jp>

Twitter: @zeninkyo